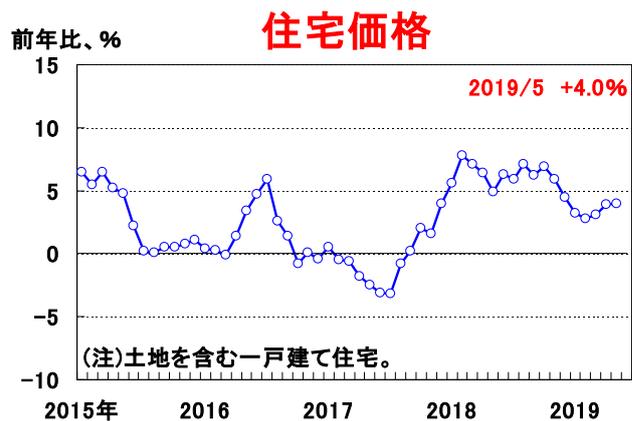
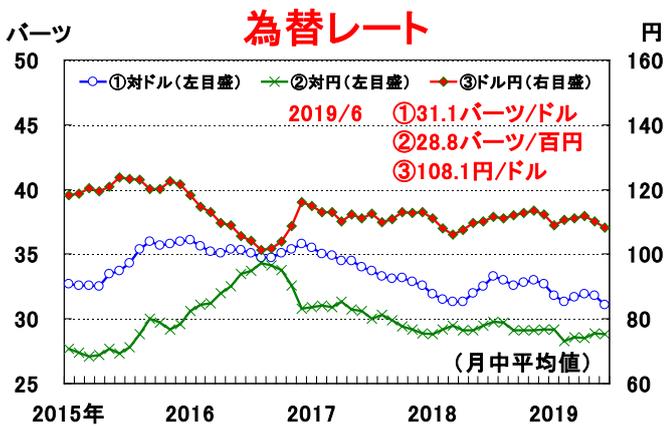
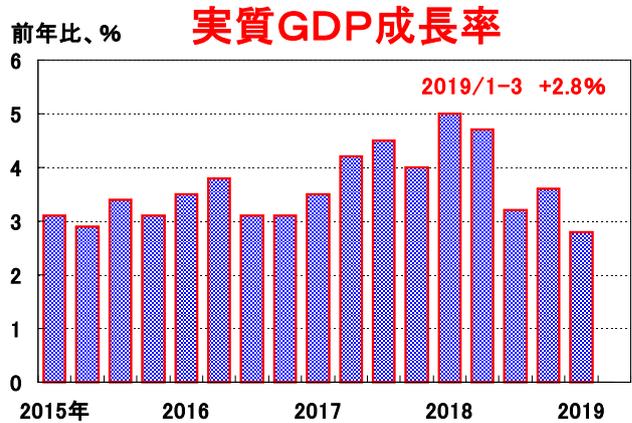
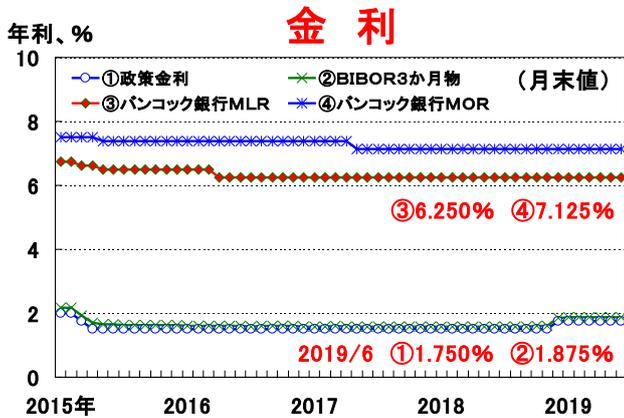


# グラフで見るタイ経済 2019年7月号(No. 121)

タイの企業部門において、弱い動きが目立っている。5月の輸出は前年比-5.8%と3か月連続で減少した。主要仕向地別にみると、米国向けが加速したものの、日本と中国向けのマイナス幅が拡大した。5月の工業生産指数は前月比-2.5%と下落し、主力産業である自動車の生産台数も前年比-6.1%と2018年9月以来の前年水準割れに転じた。6月の企業景況指数は49.4(前月は50.1)と中立水準の50を下回り、企業マインドも足元で悪化している。一方、家計部門をみると、個人消費指数は前月比+0.4%と3か月連続で上昇した。



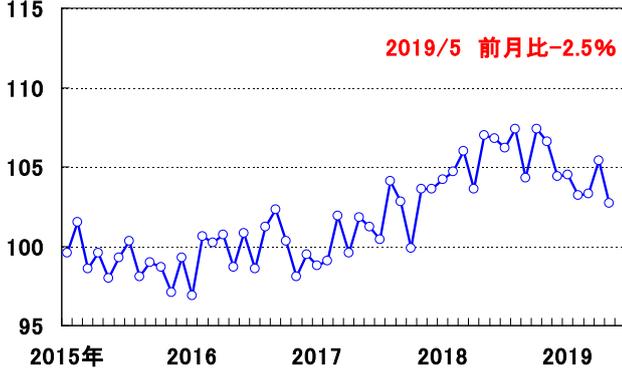
**【今月のトピック: 観光客に対し強制加入の保険を導入へ】** タイ国家保険委員会は、外国人観光客を対象とした強制加入の保険を年内にも導入する計画を公表した。今後、政府内の承認手続きを経て、制度が創設される見込みである。現在の計画によると、観光客は入国審査時に20パーツ(約70円)を支払い、保険に加入する。不慮の事故により死亡した場合、1人当たり100万パーツ(約350万円)が支払われる。昨年、プーケット沖で中国人47人の犠牲者を出す事故が発生し、政府は外国人観光客の安全確保を強化する措置を講じてきた。保険制度の創設は、外国人のタイ観光への安心感の向上に役立つと考えられる。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

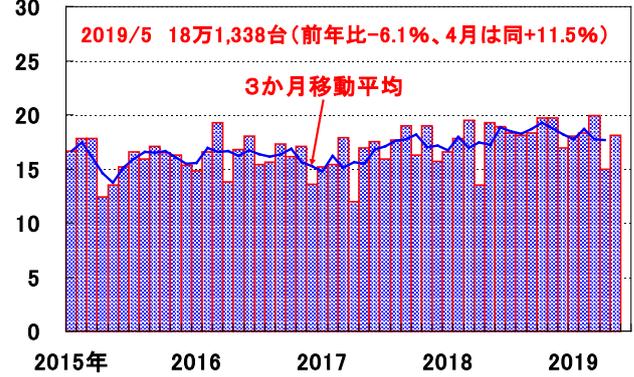
季調済  
2011年=100

### 工業生産指数

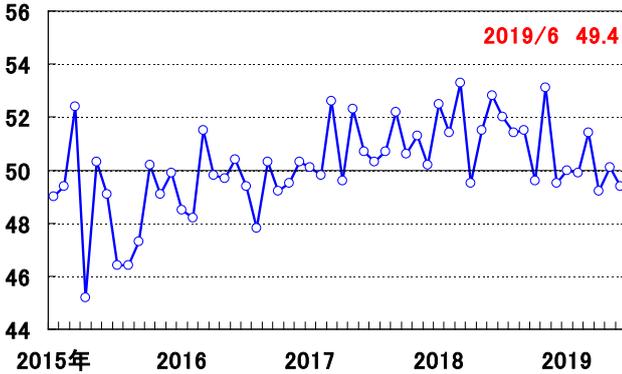


万台

### 自動車生産台数



中立水準=50 **企業景況指数(BSI)**



季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



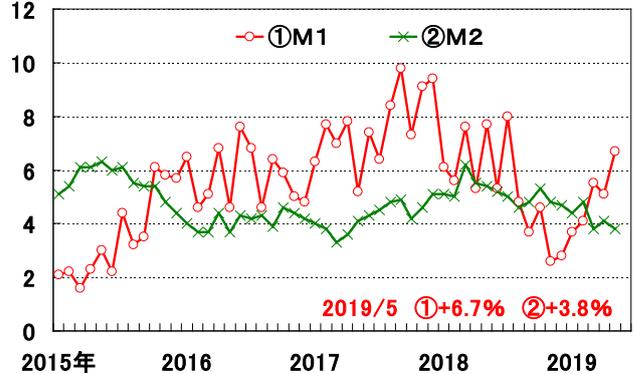
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



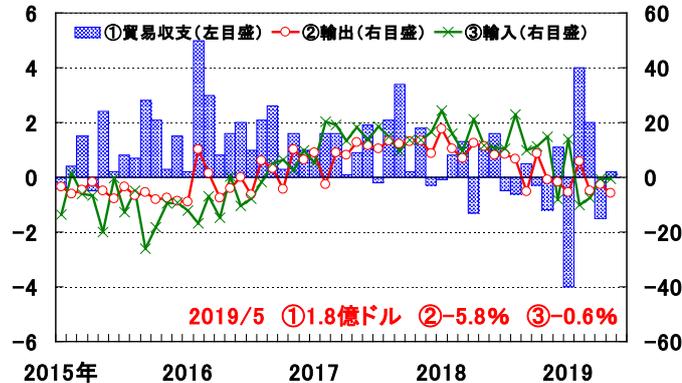
前年比、%

### マネーサプライ



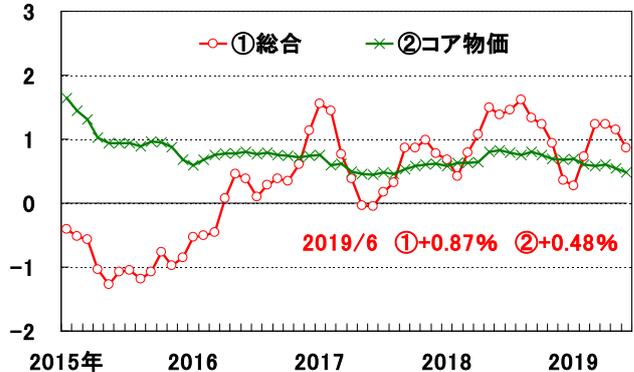
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。